事業体系図

＜基本方針＞　＜重点目標＞　令和４年度　＜具体的取組＞

「だれでも、いつでも、どこからでも」利用できる社会教育施設

「専門性」と「多様性・広域性」をコンセプトに、仕事やくらし、地域社会の課題解決等に役立つ図書館サービスの構築・提供

- (1) 多様な県民が利用できるサービスの提供
  - ①障がい者、高齢者等多様な利用者の読書活動の支援
  - ②専門書を中心にした電子書籍サービスの充実
  - ③「やさしい日本語」等を活用した館内サービスの充実
  - ④ホームページ・ＳＮＳ等を活用した県民の図書館利用の促進
- (2) 子どもの読書活動の推進
  - ①多言語絵本等の資料提供による子どもの読書活動支援
  - ②子育て関連イベント等による家庭の読書活動支援
  - ③小中学生の図書館利用の促進（小中学校支援プログラムの充実）
  - ④不登校などの様々な環境にある児童・生徒への支援
- (3) 資料収集・保存・提供の推進
  - ①専門的・学術的資料、郷土資料の収集・保存・提供
  - ②郷土資料の利活用・デジタル化の推進
  - ③収蔵スペース確保のための保存資料・書架配分の見直し
- (4) 市町村立図書館、学校図書館等支援
  - ①職員研修や図書館相互貸借等による市町村立図書館への支援の充実
  - ②災害対応などの様々なリスクを想定した県内公共図書館の連携・協力体制の構築
  - ③協力貸出等による学校図書館への支援と連携
  - ④団体貸出を活用した様々な団体への支援
- (5) 県民の調査研究・課題解決支援
  - ①司書の資質向上によるレファレンスサービスの充実
  - ②行政や民間団体等との効果的な連携（企画展示、相談会、セミナー）
  - ③幅広い世代を対象にした公開講座・連携講座の充実
- (6) 社会教育の推進と生涯学習情報の提供
  - ①社会教育関係者研修の推進と公民館等での「やさしい日本語」講座の普及
  - ②市町村・団体等への指導・助言及び支援（社会教育主事派遣の利用促進）
  - ③「まなびの広場おおいた」による様々な生涯学習情報の提供